

調べたことを まとめよう



ブックブルーローズィ

あっちこっち
ナカマッチ

図書館の本で調べたり、人に
きいたりしたことを報告書ほうこくしょに
まとめてみよう！

こだいらしりつとしょかん
小平市立図書館

1. まずは何を調べるかテーマをきめよう！

何を調べるかテーマを決めるには、
まず、大きいキーワードを考えま
す。次にそこに入る中くらいのキー
ワード、そしてさらにそこに入る小
さいキーワードを考えます。

せいぶつ
生物=大きいキーワード

キリン=中くらいの
キーワード

くび
首=小さいキーワード

「イルカ」「シャチ」「クジラ」の3つなどでは
みんな大きいテーマになってしまうからダメだよ。



あっちこっち
ナヤマッチ
音楽草男

さらに…

7つの質問のどれかをつなげて文章をつくります。

①

いつ？

②

どこで？

③

だれが？

④

なにを？

⑤

どうした？

⑥

なぜ？

⑦

いくつ？

「生物」「キリン」「首」と、⑥の「なぜ？」をつなげて文章をつくってみると…

せいぶつ くび なが
生物のキリンの首はなぜ長いのか？

テーマができました☆

2. 調べたらメモをとろう！

テーマが決まったら調べはじめるよ。調べ方は「図書館で調べよう」を参考にしてね。

調べていて、答えがみつかったら下の図のようにしてメモをとります。

書いてある
ことをよく
読んで、コ
ピーしてノ
ートにはっ
たり、書き
写したりし
ます。



その本の「か
いた人のな
まえ」と「本
の
だいたい」
「こたえがか
いてあった
ページ」をメモ
します。



わからない
言葉があっ
たらノート
に書きだし
ます。



わからない
言葉を国語
辞典や漢字
辞典で調べ
ます。

3. ほうこく書を書いてみよう！

調べ終わったら、ほうこく書を書きます。社会のほうこく書と理科のほうこく書では書き方がちがいます。自分が書くのは社会と理科、どちらのほうこく書か考えてから書こう。

社会のほうこく書の書き方

・ ほうこく書の題名
・ 学校名、学年、名前

・ 目次

・ はじめに

・ なか

・ おわりに

・ 参考文けんリスト

…ほうこく書を書くとき、一番さいごに書きます。

…①自分が調べたテーマについて書きます。

例)「わたしは広島県について調べました。」

②自分がそのテーマについて調べることになったきっかけを書きます。

例) 家族で広島県へ旅行に行くことになったからです。

…参考文けんは、必ず2冊以上書きます。くわしくは「4. 参考文けんはかならず書こう！」を見てね。

理科のほうこく書の書き方

・ ほうこく書の題名
・ 学校名、学年、名前

・ 目的

・ きっかけ

・ 材料
・ 方法

・ 結果

・ 考察

・ 謝辞

・ 参考文けんリスト

…自分が調べたいと思ったことと、調べることになったきっかけを書きます。

…実験で使った材料や実験の方法をできるだけくわしく書きます。

…実験してわかったことを書きます。感想は書きません。

…実験結果から考えたことを書きます。感想は書きません。

…調べたり実験することに協力してくれた人へお礼を書きます。

…参考文けんは、必ず2冊以上書きます。くわしくは「4. 参考文けんはかならず書こう！」を見てね。

4. 参考文献はかならず書こう！

参考文献
「参考文献」とは？

調べるときや、自分の考えをまとめる
ときに参考にする本や資料のことを
「参考文献」というよ。

ほうこく書に参考文献を書いておく
と、後でもう一度のその本を見たいとき
にどの本だったかすぐわかります。

参考文献をほうこく書に書くときは本の「奥付」をみます。

「奥付」は、その本に問題があったときに責任をとる人がだれか
わかるように書いたもので、本の最後のほうにのっています。

奥付
「奥付」とは？

「奥付」をみながら下のよう参考文献を書きます。

著者名(本を書いたひと)『本の題名』発行所, 出版年, ○ページ

題名にはかぎっこをつけます

、(カンマ)をうちます 使ったところがのっているページ

※調べるときは、必ず2冊以上本を使います。1冊だけだと、その本に書いてあることがまちがっていてもわからないからです。ほうこく書に書く参考文献も必ず2冊以上になります。

5. もう一度、見直してみよう！

最後に、もう一度ぬけているものがないかチェックします。

- テーマが書いてあるか
- 名前が書いてあるか
- わからなかったことの答えが書いてあるか
- テーマと答えがあっているか
- 著者名『本の題名』発行所, 出版年, ページ数は書いたか
- 調べるのに使った本は2冊以上か

わからないことは図書館の
人にききながら調べてね！



このパスファインダー作成の際、参考にした資料一覧

- 赤木かん子, 塩谷京子『しらべる力をそだてる授業!』
ポプラ社, 2007
- 赤木かん子『調べ学習の基礎の基礎－だれでもできる赤木かん子の魔法の図書館学, かんたん!たのしい!だれでも!』
ポプラ社, 2011
- 赤木かん子『本で調べてほうこくしよう－調べるって、たのしい!おもしろい!かんたん!』
ポプラ社, 2011